川口町公民館報

公民館報

第50号

発行人 星野輝欽
編集人 金子真
印刷所 山勝堂印刷所

一九六一年を迎えて

町民の皆様、あけましておめでとうございます

川口町長 大淵鉄太郎

昭和三十五年は内外に亘り多難の年でありましたが、当川口町をふりかえってみますに、ガスの供給開始、役場庁舎の竣工、荒谷分校、木沢教員住宅等の各種公共事業が順調に進み、又米年の懸案であった学校統合は校区民の理解と互譲の精神により、万場一致の賛決をもつて位置の決定をみましたことは、偏えに町民各位の御協力の賜と喜びに堪えないところであります。

ことに役場庁舎の完成は職員の喜びこの上もなく、これを契機として職員一同一層の精進をつづけ、全体の奉仕者としての自覚のもとに町政の進展、町民へのサービスの向上を図りたいと念願しておりますので格段の御鞭撻をお願いいたします。

本年は統合校の建築、川口中学校の増築等の事業を重点的に遂行して教育の振興を期したいと考えておりますが、これらの事業を成しとげるに要は財源ということになりまして、補助、起債のほかに各位の納める尊い税金を必要とするわけであります。

嘗い昨年の納税状況は町民各位の絶大なる努力により従来にない良好な成績でありましたことに感謝している次第でありますが、どうぞ本年もつて低下の方向を現わして来ている中で、農業所得は自立のような現状の中で農業の所得を高めるには、如何にすべきか、という問題点とその対策について、去る八月十九日三島郡寺泊町中学校で開催された第六回新潟県農業協青年大会の第二分科会で左記のことが県下各郡市より選出された二十九名の盟友によつて研究討議されました。

(1) 農業の所得をめぐる問題点
(2) 農業の技術的組作に対しては関心が高かつたが一般的には農業経営の改善に対する意欲にうすいきらいがなかつたか。
(3) 経営に対する現状の把握、並びに計画性に乏しかつたのではないか。
(4) 生産と販売は直結しなければ成果が期待できない。そのため特に共同販売の成果が二、〇〇〇万円ついたので、引き続いて施設費が行なわれ午前十二時終了した。

工事概要は次の通りである

(1) 今回完成した役場庁舎は五間半×三間の本館に、二間半×三間の便所一間半×一間の玄関がついたもので、総坪数一三四坪の鉄骨間島耐火構造の近代的建築である。堅牢の点、通風採光といい色彩、出来ばえは柏崎市の植木組、ガスメータ及びコンロ、ストーブは長岡の秋井商会がそれぞれ請負い、去る五月に完工したもので現在の供給戸数は四〇〇はまだ狭い。

戸余りだが、逐次増加しておいのでなお現庁舎の内部を改造して隣接の事務室宿直室、台所に増築、二階は議長室、議員控室、教委事務員控室等にする予定である。

この工事費は新庁舎建設費五四五万円、旧庁舎取壊費二四万円、現庁舎補修費六五万円の二、〇〇〇万円ついたので残りの六〇〇万円を町からの繰出し金と負担金でまかなわれることになる。

(2) 容積七五〇立方米のガスホルダーは約一千戸に供給する能力を有し、機械室、本支管の口径もホルダーに相応する様設備されており、工事施行者は東京の小松工業所である。内管工事は柏崎市の植木組、ガス事業は松尾工業株式会社（役員）、東北工業株式会社（役員）に夫々感謝状が贈呈され、栄養代表の佐藤小千谷管理あらゆる点において立派であつて式典は幕を閉じ、引き続いて竣工祝賀会が行なわれ午前十二時終了した。

工事概要は次の通りである

(1) 今回完成した役場庁舎は五間半×三間の便所一間半×一間の玄関がついたもので、総坪数一三四坪の鉄骨間島耐火構造の近代的建築である。堅牢の点、通風採光といい色彩、出来ばえは柏崎市の植木組、ガスメータ及びコンロ、ストーブは長岡の秋井商会がそれぞれ請負い、去る五月に完工したもので現在の供給戸数は四〇〇はまだ狭い。

戸余りだが、逐次増加しておいのでなお現庁舎の内部を改造して隣接の事務室宿直室、台所に増築、二階は議長室、議員控室、教委事務員控室等にする予定である。

この工事費は新庁舎建設費五四五万円、旧庁舎取壊費二四万円、現庁舎補修費六五万円の二、〇〇〇万円ついたので残りの六〇〇万円を町からの繰出し金と負担金でまかなわれることになる。

(2) 容積七五〇立方米のガスホルダーは約一千戸に供給する能力を有し、機械室、本支管の口径もホルダーに相応する様設備されており、工事施行者は東京の小松工業所である。内管工事は